2015年度（一社）備前青年会議所スローガン
一途一心 ～心一つ志し高く 共に挑戦しよう！～

2015.12

# Bizen JC News

## 一年を振り返って

2015年理事長 青木一世

2015年度理事長をさせていただくに当たり多くの不安もありましたが、多くの諸先輩方、関係者の皆様に支えられ、そして何よりも多くの仲間の支えにより、一年間無事に理事長職を終える事が出来きたことをまずは、心より厚く御礼申し上げます。

本年度のスローガンとして「一途一心～心一つ志し高く共に挑戦しよう！～」を掲げ希望を胸に2015年度がスタートしました。青年会議所は、40歳という限られた時間の中で様々な機会をチャンスとし、自分自身を磨き、経験を深め「挑戦する」という気概を常に持ち、心一つひたむきに行動することにより、地域から必要とされる魅力ある団体となれるようにと1年間活動を行って参りました。

青少年育成事業として、継続事業でありますわんぱく相撲東備場所は、今年で29回目の開催となりましたが、年々参加者が減少しており、どうにか参加者を増やせないかと本年度は東備地域の多くの小学校にご協力いただき、年間を通してエコキャップ運動を行い、わんぱく相撲のPRと平行して募集活動を行いました。またLOMとしては例会行事として集中して募集活動をした結果、例年より多くの参加者により大盛況に終えることが出来ました。備前JCの看板事業であるこの事業を継続していくには、学校との直接な連携がとれるような活動も必要だと感じました。もう一つは、昨年から引き続き備前JCサッカー教室を開催し、本年度は、地元プロサッカークラブ、ファジアーノ岡山のコーチをお呼びしました。東備地域のサッカークラブチーム小学校3年生から4年生、約100名の子供達の参加により、プロサッカークラブ独自の練習方法やミニゲームを行い、スポーツ選手になる夢や希望を与えられるような事業になりました。

地域事業として、昨年より東備地域の青年団体と連携し事業を行っている、備前地域まちおこし協議会では綿密な連携がとれるように、まちおこし協議会実行特別室を新たに設置し、昨年より良い事業ができないかと何度も会議を重ね、昨年同様備前焼まつりに参画し、備前焼のグラスで飲むビールとそれぞれの地域の物産品を来場された多くの皆様に堪能していただくことにより東備地域の魅力を知っていただくことができました。またステージでは、備前ミュージックフェスと題し、地元若手アーティスト、桜ヶ丘小学校合唱クラブ、岡山城東高校合唱部の音楽ライブと（公社）日本青年会議所が被災地に明るい兆しを届けるという目的から作成された、東日本大震災復興支援ソング「未来へつなぐメッセージ」を備前メンバー、合唱部、アーティストと共に合唱をし、来場された皆様と復興の意識を分かち合い、我々の活動を知っていただく良い場となりました。次年度以降も良い関係を維持し、活気に満ち溢れた地域の為の素晴らしい活動に取り組んでいただけたらと思います。

LOM内においては、2つの姉妹JCである屏東國際青年商会、（一社）境港青年会議所が創立50周年を迎えられ多くの諸先輩方、メンバーとで台湾と境港に行かせていただきました。

また、（一社）境港青年会議所と（一社）備前青年会議所は今年で姉妹締結40周年を迎え岡山の地で記念式典、祝賀会を開催しそれぞれの諸先輩方、メンバー多数の参加のもと、盛大に行うことが出来ました。その中で締結の経緯などお聞きすることができ、諸先輩方が築いていただいた友情の絆に改めて感謝をし、次の世代にしっかりとバトンを繋ぎ、この素晴らしい友情の絆を永く、永く継続していただけたらと思います。

最重要課題の会員拡大では2名の新会員が入会しました。例年よりは、少ない入会者ではありましたが、次年度にしっかりと引継ぎをし、2年後に迎えようとしています創立50周年に向け会員拡大に力を注いでいただき、素晴らしい50周年を迎えられるようお願いする次第でございます。

最後に、2016年度は後藤理事長予定者をはじめとする新たな（一社）備前青年会議所が始動いたします。地域に根ざした魅力ある備前青年会議所として、今年度以上に飛躍することを期待いたします。私もこれまでの経験を生かし、次年度は微力ではありますが直前理事長としてLOMに貢献できるよう努力したいと思います。

これからも（一社）備前青年会議所に対して引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

一般社団法人 備前青年会議所 Junior Chamber International Bizen
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs
ホームページ 備前ＪＣ 検索

### 2015年度スローガン

| | |
|---|---|
| 日本青年会議所 | 美しく先駆けよう！すべては未来を生きる人のために |
| 中国地区協議会 | 地域資源を活かす 自立自活した中国の再興 |
| 岡山ブロック協議会 | 郷土愛隘れる 自立自活した岡山の再興 |

## ８月度臨時総会・合同例会

時　８月22日㈯　　於　長船サービスエリア

ひとづくり地域創造委員会　委員　**吉村　　啓**

８月度合同例会では講師に小田原ＪＣＯＢの上田博和先輩をお迎えして「決してあきらめない　夕張再生への挑戦」という演題でご講演をいただきました。地域再生のためには、まず地元に密着して活動を行っているＪＣが元気でないといけないという信念のもと、全く知らない地でのＪＣ会員の勧誘や、地域の方との軋轢や問題に対して現場に入って動かれている内容を話していただきました。何かを変えるためには動かないといけないこと、諦めないことを学ぶことが出来ました。今回の講演は現役、シニア共に改めて考え学ぶ良い機会になったと思います。この貴重な講演を踏まえ今後のＪＣ活動に活かしていきたいと思います。

## 第31回わんぱく相撲全国大会

時　８月２日㈰　　於　東京両国国技館

子供未来委員会　委員　**堀　　晃宏**

８月２日㈰東京両国国技館にて第31回わんぱく相撲全国大会が開催されました。

前日の全国大会の子供教室では、今年の大会テーマが「RESPECT～互いを敬い思いやる心～」という事で、勝敗に関わらず取組後の礼が美しく礼節を重んじる力士として有名であった立田川親方（元豊真将関）に講演いただきました。

その後、東備場所で優勝した４年・５年・６年生の横綱と一緒に、今年はなんと横綱白鵬関の宮城野部屋へ宿泊させていただきました。残念ながら白鵬関は不在でしたが親方、女将さん、若い力士の方々に大変お世話になり私も含め大変貴重な経験ができました。

そして本番当日、全国から集まったわんぱく力士達を相手に力一杯持てる力を発揮し、私たち備前ＪＣメンバーに感動を与えてもらいました。

## 備前･赤穂･小豆島 ３JC合同９月度例会

時　９月13日㈰　　於　和気ドーム

ひとづくり地域創造委員会　委員　**西村　裕二**

９月13日㈰赤穂、小豆島、備前ＪＣによる３ＪＣ合同９月度例会が、和気町にあります和気ドームにて行われました。

今年は３ＪＣの友情と絆を深めるという事で、各LOMが３チーム混合に分かれたスポーツ競技を行いました。

両肩を組んで息をあわせての５人６脚から始まり、腹筋、腕立て競争、ぐるぐるバットでは、選手全員がふらふらになり、真っ直ぐゴールまで走れず多くの笑いがでて面白かったです。

そしてフットサルでは普段見せない少年のような笑顔でメンバー全員、ボールを追いかけていました。

最終種目の３ＪＣ対抗リレーでは各LOMの執行部、理事長対抗リレーで大変盛り上がりました。その後の懇親会では、より一層絆を深められた充実した一日でした。

そして次の日、メンバーから筋肉痛の声をたくさん聞きました。皆様、大変おつかれさまでした。

## 第３回じゃがいも例会

於　山陽ゴルフクラブ　　時　９月20日㈰

| 順位 | 氏　名 | GROSS | NET |
|---|---|---|---|
| 優勝 | 雪村　大 | 102 | 75 |
| ２位 | 寺見 和浩 | 96 | 79 |
| ３位 | 吉延 茂樹 | 85 | 81 |

（敬称略）

## 屏東ＪＣ来日

時　８月29日㈯～９月１日㈫　　於　東備エリア

総務広報渉外委員会　委員　**有本　和敏**

８月29日㈯～９月１日㈫の日程で姉妹ＪＣであります屏東國際青年商會メンバー15名が来日されました。

初日は関西空港までお迎えに行き、サンピーチ岡山で歓迎会を致しました。

２日目は八塔寺で昼食にそばを食べてもらい日本の食文化に触れていただきました。その後、キリンビール岡山工場、サッポロワイン岡山ワイナリー見学をしてただきました。

続いて３日目は備前商工会館研修室で屏東、備前ＪＣ交流会議を行い、４日目は岡山駅にてお見送りをし帰国されました。

４日間言葉は通じませんでしたが、「おもてなし」というのは心と心で通じ合い親交をより深めることが出来るのだと気づかされ今後もこの気持ちを忘れることなく交流を深めていければと感じました。

# activity report

## 10月度例会

時 10月14日(水)　於 備前商工会館４階大ホール

子供未来委員会　委員長　花岡　大作

10月度例会の例会行事は当委員会の子供未来委員会が担当して行いました。

今回は興譲館高校校長の小谷彰吾先生を講師としてお招きし、『未来を拓く子ども達に今』～「命」と「チーム」がキーワード～と題しまして講演をしていただきました。

興譲館高校は創立158年の伝統を誇る岡山県井原市の学校で、小谷先生は伝承の校訓を具現化し徳育に重点を置いた様々な改革に取り組んでいます。「品格教育」を実践し論語を用いて学校改革を成し遂げている実例を紹介していただき、家庭で今なにが必要かを学習しました。

身近な挨拶、思いやりの心、自分の行動に責任を持つなど品格教育はＪＣ活動に相通ずるものがあり自身の品格を再認識し、未来の子ども達のために大人の行動の重要性を理解していただけたのではないかと思います。

## 岡山ブロック懇親サッカー大会

時 10月３日(土)　於 神崎衛生施設組合･多目的広場

サッカー部監督　小橋　俊允

去る、10月３日(土)に神崎衛生施設組合・多目的広場において、岡山ブロック懇親サッカー大会が開催されました。当日は県内より12のLOMが参加し懇親の中にも熱い熱戦が繰り広げられました。我々、備前ＪＣはグループリーグで玉野ＪＣ、笠岡ＪＣと対戦しましたが結果は一敗一分けで敗退となりました。このサッカー大会は現役会員だけでなく、特別会員の方や、ご子息、入会予定者の方など参加できるとあって、普段とは少し違う雰囲気の中で交流がもてるサッカー大会であったと思います。

来年度は笠岡ＪＣの主管のもと開催されますので、次年度こそ決勝トーナメント進出できるよう頑張りたいと思います。本年度、会員、特別会員の皆様にはサッカー部の活動に対しましてご協力いただきありがとうございました。

## 歴代会員長会議

時 10月21日(水)　於 美晴旅館

会員開発委員会　委員　森　敏彰

備前青年会議所（ＪＣ）には、新入会員が所属する「会員開発委員会（会員会）」と呼ばれる委員会があり、そこで、右も左も分からない新入会員の教育をしながら、組織を支えていく、縁の下の力持ちといえる存在が「会員長」になります。

10月21日に開催された「歴代会員長会議」では、長い歴史と伝統の中で「備前ＪＣ」を支えてこられた先輩方の〝力自慢〟を伺うことができ、また、自分を見つめ直し、更なる目標へ向けて意識を高めることのできる、素晴らしい一日となりました。

次年度で第50代となる「会員長」。歴代から受け継がれたバトンは本年度、大変お世話になった花家誠会員長より、河本浩信会員長予定者へと渡り、新制「会員会」がスタートとなります。

## 備前焼まつり

時 10月17日(土)、18日(日)　於 伊部駅周辺場

ひとづくり地域創造委員会　委員　西村　裕二

10月17、18日に備前焼まつりが行われました。私達ＪＣは、備前焼ミュージアム駐車場にて東備地域の各商工会の皆様と連携し、まちおこし協議会を立ちあげ、備前焼まつりに参画しました。各商工会が地元の名産品を出品しビールまつりを行い大勢のお客様にお越しいただきました。

備前焼まつりのステージが終わると、ステージでは備前ミュージックフェスを開催しました。

17日は、桜ヶ丘小学校合唱クラブに歌っていただきました。緊張の面持ちの中、子供らしい歌声を会場に響かせステージに花を添えてくれました。次に岡山発次世代アーティストのALL NEED IS NOWの皆さんの圧巻のパフォーマンスで会場は賑わいをみせていました。

翌日18日は、岡山城東高校合唱部が素晴らしい合唱でステージを盛り上げてくれました。音楽系を持つ高校だけあって高校生とは思えぬ心を揺さぶられる歌声でした。

両日とも、最後には私達ＪＣの日本青年会議所で作った東日本大震災の復興支援ソング「未来へつなぐメッセージ」を歌いました。本当に天候にも恵まれ実にすばらしいおまつりでした。

## LD道場

時 11月１日(日)　於 熊山

ひとづくり地域創造委員会
委員長　小林　弘明

天候に恵まれ11月１日、ＬＤ道場（熊山登山・歴史探訪）が開催されました。

備前市と赤磐市に跨り聳える熊山は、標高５０８ｍ岡山県南部で一番高い山です。

かつては霊山として信仰のあった熊山の頂には、謎の石積みピラミッド熊山遺跡が鎮座しています。

ＪＣ活動において事業を成し遂げる事は、仲間と協力し、一歩一歩頂上を目指して前進して行く登山と通じています。メンバー個人が自分と向き合い真摯にこの事業に取り組むことで、リーダーとしての資質の向上を目的とし登山しました。

登頂後は、熊山遺跡研究会のガイドさんから東備地域の歴史を学び、メンバーはより東備地域に根差し、更に各個の人間形成の一助とさせていただきました。

麓から山頂まで約２時間の登山でしたが、メンバーの皆さんはどんな思いで登られたでしょうか。また先人達の歴史を知り何を思われたでしょうか。

何より、メンバーの笑顔と汗が印象的なＬＤ道場でした。

# ご卒業おめでとうございます　1975年生

青木　一世

卒業するのにあたり、たくさんの思いが湧いてきます。２００３年1月に入会して、13年間ＪＣ活動をさせていただいた中で、一言では言い表せない、楽しかったこと、嬉しかったこと、辛かったこと、色々な事を経験させていただきました。何よりも最終年度に理事長をさせていただいたことは、これからの人生において非常に良い経験と学びを得る事ができました。そしてＪＣを通じて出会った諸先輩方、共に汗を流した仲間達は、私にとって何物にも変えることができない、これからの私の財産になると思います。

これで私は卒業ですが、これからの備前ＪＣを担う後輩の皆さんには地域にとって魅力ある団体になるようがんばってください。次年度は直前理事長として1年間留年が決定していますので、皆様には来年1年もお世話になります。（笑）

武本　秀樹

２００３年8月に備前ＪＣに入会致しまして12年、とうとうこの日を迎える事となりました。生活の一部として、私の人生に組み込まれていたＪＣがなくなると思うと寂しい思いと、嬉しい思いが入り混じって複雑な気持ちです。と、言いましても次年度は監事として、現役メンバーと共に行動する事もありますので、リハビリとして良い期間になりそうです。

私は人づきあいが苦手でさらに出不精、このままではダメだと、何かしないといけないと思っていた時にお誘いをいただき、いい機会だと思い入会しました。割と気軽な気持ちで入会したのですが、思っていたものとは違ってなかなかとヘビーなものでした。

しかしながら、ＪＣ活動を通じて、いろいろな機会を与えていただき、他ではできない多くの経験をさせていただきました。これからは今まで学んできた事をしっかりと仕事や私生活に活かしていきたいと思います。

堀　晃宏

２００６年入会当時はどうなることかと思っていましたが、振り返れば10年という歳月が過ぎました。さまざまな事に参加させていただき多くの人と出会いがありました。ＪＣに入会していなければ、お逢いする事のない先輩や、同期のメンバーに逢う事は無かったと思います。卒業という事で、ＪＣについて考える時間が出来ました。もしかしたら、入らなくてもよかったかな…とも思う。入ってなかったら今、毎日何してたんだろう。いろいろな事が思いだされました。しかしながら暖かくご指導いただきました先輩、メンバーの支えがあったからこそ頑張ってこれたと思っております。ＪＣに入って良かった！　正直な感想です。

最後となりましたが、これだけ長期間ＪＣ活動が出来たのは周囲の理解と協力があってのことです。10年間、本当にありがとうございました。

花家　誠

２００８年8月に入会させていただいてからこの7年半、他団体にはないＪＣ独自の経験と気づきを得ることができました。現役時代苦楽を共にした仲間、たくさんの教えを授けてくださった先輩、そういった素晴らしい方々との交流ができたのもＪＣに入会できたからです。私は自分の住むこのまちに対する様々な思い、そして自己修練を目的にＪＣに入会しました。その思いは現時点で未だ形を成しているわけではなく、思いを達成できているとは到底言い難いまま卒業することになるわけですが、今後の人生、その方向についてはＪＣでの経験を糧にしたものにしたいと思っております。一度きりの人生の中、備前青年会議所を卒業できることを誇りに思います。最後に、現役会員の皆様と、この素晴らしい備前青年会議所の益々の発展を祈念いたします。素晴らしい経験を本当にありがとうございました。

鷹取　秀彰

まいど！皆様やっと卒業生です。現役の皆さん羨ましいでしょう。やっとこの常識を逸した酒池肉林の日々から脱却できる日がやってきました！冗談はさておき私が備前青年会議所に入会したのは２００９年の後期入会で8月の臨時総会で新会員として紹介され緊張したの覚えています。

新会員の時に一番印象に残ったのは新会員研修会でのアトラクションです。

和気清麻呂太鼓の皆さんに太鼓を指導していただき2ヶ月の練習を経て優勝することが出来ました。

備前青年会議所に入会してからの委員会活動、事業を通じ他では成し得ない経験が自己の向上の糧となっております。また、活動していく中で東備地区の代表とも言える人達に囲まれ、その中で仕事やＪＣ活動を通じ自分より頑張っている人がこんなにいる。自分も、もっとやれるはずだ！頑張れるはずだ！と、パワーをいっぱいいただきました！

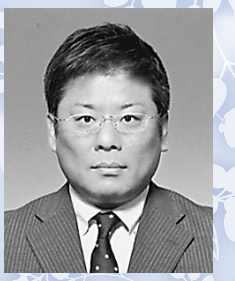
最後になりましたが皆さんお世話になりました。本当にありがとうございました。

これからの備前青年会議所で活動される後輩の皆さん東備地域の明るい豊かな社会を築くため頑張ってください！

伊賀　文人

2012年に入会して気が付けば卒業を迎えました。決して長いとはいえない入会年数ですが、中身が濃い時間を過ごせたと思います。この間多くの先輩方や現役メンバーとの交流や事業を通じて多くの気づきや、成長があったと思います。特に本年度は総務広報渉外委員会の委員長として他では得がたい経験をすることができました。夜遅くまで準備をし、思いをもって行った各事業の経験は卒業した後にも活きていくと確信しております。お世話になった皆様本当にありがとうございました。

今後の（一社）備前青年会議所とメンバーの皆様の益々の発展を祈念いたします。そしてこれからもよろしくお願いいたします。



寺見　和浩

私が備前青年会議所に入会させていただいたのは2014年でした。

それから2年間という非常に短い活動期間でしたが、その時間的な短さを上回るだけの濃密な、充実したJC活動だったと私は感じています。

そしてJC活動を通じて多くの事を学ばせていただき支えて下さった素晴らしい先輩方や仲間に改めて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

JCに参加した当初から、何も分からない私に色々な事をご指導いただきました。社会人としての一般常識からはじまり、また経営者としての考え方、そして地域の発展にどのように貢献していくかという事まで多くのことを学びました。JCに参加するまで私がいかに未熟であったかを感じたとともに、それを糧に少しは自分自身が成長できたのではないかと思います。

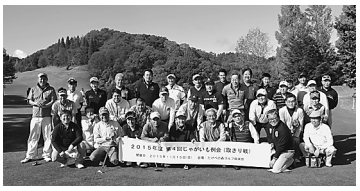
委員会の仲間と一生懸命取り組んで実行していった事業のこと、それをやり遂げた後に素晴らしい達成感を味わえたこと、また時には失敗をして先輩方や仲間に叱咤激励をいただいたこと、それら全てが今後の私の人生においての財産となったと感じています。

そして最後になりましたが、今後もJCとそのメンバーの皆様のご活躍、ご発展を祈念いたします。皆様、ありがとうございました。

## 第4回じゃがいも例会（取りきり戦）

時　11月15日(日)　　於　たけべの森ゴルフ倶楽部

専務理事　河本　浩信



11月15日(日)、たけべの森ゴルフ倶楽部におきまして、第4回じゃがいも例会（取りきり戦）が開催されました。本年度最後のじゃがいも例会（取りきり戦）ということで、豪華景品を狙って熱戦が繰り広げられました。

スタート時間が遅かったため、私の入っておりました最終組は、最終ホールで日没になりましたが、投光器やたくさんのキャディーさんにお世話になり、結果準優勝という素晴らしい賞をいただくことができました。ありがとうございました。そして、土方会長をはじめとされます本年度じゃがいもクラブ役員の皆様、一年間ご設営、本当にお疲れ様でございました。

〈敬称略〉

| 順位 | 氏　名 | GROSS | NET |
|---|---|---|---|
| 優勝 | 野坂　弘利 | 90 | 65(65) |
| 2位 | 河本　浩信 | 100 | 67(65) |
| 3位 | 金光　洋二 | 75 | 71(68) |

（　）は取り切りハンデ。順位は同じ

## 11月度例会

時　11月11日(水)　　於　備前商工会館4階大ホール

会員開発委員会　委員　松田健太郎

11月11日(水)に備前商工会館にて11月度例会が行われました。年間12回ある例会のうち半分くらいはここを利用させていただいており備前JCメンバーにとって馴染み深い会場であります。12月度例会は、神戸での移動例会のため、今年度この会場での例会は最後ということになります。青年会議所では、40歳を迎える年度の12月末で卒業となり、今年は、卒業する現役メンバーが7名で、その中には10年以上もJC活動をしてきた方もいます。この会場で色々なことを学び、様々な苦楽を経験してきたのではないでしょうか。

そしてこの日行われた例会行事は、昨年度卒業された税理士でもある佐崎肇先輩による税金についての講演でした。主に法人税についての内容で、税金といっても様々な事柄があり複雑でしたがとても勉強になりました。その時は理解できていても時とともに忘れてしまわぬようこれから関心を持ち自分のものにしていきたいです。

## 新会員紹介

田口友和
税理士事務所
田口　友和

この度、備前JCに入会させていただきました田口友和と申します。28歳まで日生町で生活をしており、この東備地区には長いこと育てていただいたという思いがあります。少しでも地域に恩返しをしていければと考えておりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

㈱あいたいよう
大平　昭由

このたび、（一社）備前青年会議所に入会させていただきました大平昭由（38歳）と申します。残り2年という短い期間ではありますが、たくさんの方との出会いを大切にし、地域社会への貢献と、自分が成長する事による会社への貢献を目指し頑張っていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

## 誕生おめでとう

小林弘明 君
（長男）
あらた
新 くん
2015年7月31日

☆お子さんに一言
すこやかに育ってね。

# activity report

## 愛の風活動

時　4月～9月　　於　東備エリア各小学校

子供未来委員会　委員　**高取　宏樹**

集まったキャップの数はおよそ16万個以上、重さにして約378kg。今年度備前青年会議所は愛の風活動として東備エリアの各小学校にペットボトルキャップ集めを実施しました。

子供たちに環境教育の機会の提供とボランティア意識の育成を目的として東備エリア29校にペットボトルキャップの回収にご協力していただきました。4月～9月の回収期間であつまったキャップは162,798個、重さにして378.6kg、2トントラック1台分、189名分のワクチンに相当します。

学校によっては児童会活動として継続して行いたいというところもありました。こんな小さい活動でも意識を変えるきっかけとなり、大きな活動に成長してほしいと思います。

## 備前ＪＣサッカー教室

時　10月25日㈰　　於　赤磐市熊山運動公園多目的広場

子供未来委員会　副委員長　**田中 慎一**

10月25日㈰2015年度備前ＪＣサッカー教室が開催されました。

昨年度好評であったスポーツ教室は、ＪＣが掲げる未来を担う子供たちの健全育成と合致していて、子供たちが高い志を持ち自らを律し、チームプレーのなかで他がためへの精神・協調性を養うことを目的としています。

ファジアーノ岡山のコーチ陣をお招きしてのサッカー教室は子どもたちにとっていつもの練習と違い、良い緊張感の中、高度な練習をすることができました。

午後からの懇親サッカー大会では、子どもたちと一緒にメンバーも必死でボールを追いかけました。最高の天気の中ですばらしい一日となりました。ご参加いただきました関係者の皆様ありがとうございました。

## 2016年度理事長予定者

2016年度理事長予定者

**後藤　善康**

### 気概　誠意　敬意

古くから岡山県の東の玄関口として地域経済に寄与してきた我々の住む備前・東備地域ですが、長期に亘る日本経済の衰退や産業・社会構造の変化等様々な要因により、あらゆる意味で苦境に立たされているのが現状だと感じています。今まさに、時代の転機であるにもかかわらず、変わらねばならないのに変えられない。これまで私たちは幾多の困難を乗り越えてきた先人たちの努力の上にあぐらをかき、手遅れという感覚を忘れてしまったのではないでしょうか。あるいは、どこか他人事で、誰かがやってくれるのを待ち望んでいたのかも知れません。この郷土の転機に、現状を打破し、「明るい豊かな社会」の実現に向けＪＣが地域の先頭に立ち、真の意味でのリーダーとして未来へ歩を進めなければなりません。2016年度は【気概、誠意、敬意】をスローガンに掲げ、【誇りと覚悟をもって、我々は未来の灯となる】を理事長提言としております。今日に至るまで先輩諸兄が受け継いでこられた歴史に敬意を表し、あらゆる活動に誠意をもって真正面から実直に取り組み、未来を創ることのできる唯一無二の存在としての誇りと気概を持ち、会員全員が決して妥協することなく活動していく所存です。皆様には当会議所の活動に対しまして引き続き多大なるご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 編集後記

2015年もあと少しで終わろうとしています。

本年は様々な記念式典等がありまして節目の年であったかと思います。

今まで諸先輩方が築いてこられました歴史・文化を学ばさせていただき今後何十年そしてさらに長く友好関係が続けていけるよう努めていかなければならないと再認識させられました。また、私自身初めて経験させていただく事も多く今後のＪＣ生活に大変生かしていける貴重な年になりました。

（有本　和敏）


発　行　（一社）備前青年会議所
〒七〇五－〇〇二二
岡山県備前市東片上二三〇
備前商工会館内
☎（〇八六九）六四－一五四五
ＦＡＸ　六四－一〇〇五
発行責任者　伊賀　文人
編集責任者　藤原　利幸
編集担当者　岡本　達也
有本　和敏
寺見　和浩
発行日　平成二十七年十二月五日
印刷所　㈱大西商店印刷部